



# BeNews

2012.Autumn

## 【特集】

1. 短期大学部創立60周年を控えて(2)  
別府キャンパスの伝統……………1-2
2. 司書課程、司書・司書補講習の歩みと現状……………3-4

## contents

- 教育CloseUp  
別府大学のアーカイブズ教育……………5  
短期大学部 専攻科(福祉専攻・初等教育専攻)の教育……………6
- 研究者インタビュー  
日和 恭世(人間関係学科 助教)……………7  
神田 亮(保育科 講師)……………8
- 国際交流……………9
- いぎいぎ別大生……………10
- 新任教職員紹介……………11
- 学園News……………12-14
- 学園の事業報告(抄)……………15-17
- 新聞掲載記事……………18



安部 沙保里「白昼夢」F100 キャンバス・油彩

## 別府大学短期大学部の歴史

別府大学短期大学部  
学長 金子 進之助



### 短大・別府キャンパスの歩み

別府大学短期大学部はキャンパスが別府と大分に分かれています。今号では別府キャンパスを紹介します。別府キャンパスには現在、食物栄養科と初等教育科及び専攻科が開設されています。

食物栄養科は1954年に生活科の科名で九州初の栄養士養成施設として認可を受けました。1992年に大分キャンパスの開学により、生活科の一部が大分に移るなどの改組を経て、1995年に現在の食物栄養科に改称しました。

初等教育科は、1953年に設置された自由が丘保育専門学院を母体として、自由が丘幼稚園教員養成所を経て、1962年に短大に増設され、1964年12月に保育士養成施設と

して指定されました。

専攻科の福祉専攻は1988年12月に設置され、1992年に介護福祉士養成施設としては九州唯一の専攻科として、学位授与機構に認定されました。

同じく初等教育専攻は1995年12月に設置され、1998年に学位授与機構の認定を受け、1999年には短大の専攻科としては全国初の小学校教員一種免許養成課程に認定されました。

別府キャンパスには多くの建物がありますが、短大の教育は、主に音楽教室のある3号館、23号館（1984年建設）、2号館（2008年建て替え）と、図書館・体育館・プール等施設とで実施されています。



3号館（正門の左手）

## 食物栄養科の教育活動

### 伝統ある学科の教育

食物栄養科は1954年の発足以来今日まで、栄養士養成校として、大分県下の病院や社会福祉施設・学校・保育園等、地域社会の担い手となる人材の育成に努め、来年度60周年を迎えようとしています。卒業生数は5千人を超え、栄養士ばかりではなく、地域の栄養教育に携わる者、栄養に関する知識を活用して会社を経営する者等、社会の多方面で活躍しています。



和菓子作り講習会

授業の前後には、教鞭を取ってくださる先生方への感謝、自分たちのこれから授業に取り組もうとする準備の気持ちを表す挨拶「起立、礼、着席」を行っています。こうした何気ない日常的な取り組みの中にも60年の伝統が息づいています。

また、授業への欠席の連絡を行わせるなど、基本的な生活習慣やマナーの定着を図ることにより、学生の人間性・社会性の育成を図ることを大事にしています。

### アクティブな地域活動

食物栄養科は今最もアクティブな学科と言ってもよいでしょう。食と健康について、今日の多様化した食生活に対応できる専門的知識や技能を身に付け、食教育を率先して行える人材の育成をめざし、学生一人一人の学力や生活に対応した指導をきめ細かく行うと同時に、様々な地域活動を取り入れ、体験を通しての学びを重視しています。

その様な取り組みとして、「管理栄養士国家試験対策講座」などの卒業後の支援、一流のシェフを招いての料理講習会、「国際交流セミナー」での留学生との交流、中華料理を体験する台湾研修旅行などを行ってきました。

た。最近では、時代にあった子育て支援や食育活動、特に今年度は大分県の食育活動のPRのために、「WA-SHOKU女子隊」や「育ドル娘」を結成し、積極的に大分県下の食育活動に努めていました。

また、「健康展」を開催し減塩の食事を提案、健康の原点である減塩を取り上げ生活習慣病の改善意識を定着



台湾研修旅行

させることで、大分県の医療費の削減を目指したいという大きなプロジェクトを進めています。



WA-SHOKU女子隊

### 取得資格・免許

栄養士免許・フードスペシャリスト受験資格・中学校教諭二種免許（家庭）・栄養教諭二種免許・司書資格・司書教諭資格

## 初等教育科と専攻科（福祉専攻・初等教育専攻）の教育活動

### バランスよく学ぶ専門科目

初等教育科では2年前から初年次教育に取り組み、基礎演習（ノートの取り方・レポートの書き方・意見の集約や発表の方法等）を取り入れ、大学生としての学びの支援も開始しました。また、卒業後すぐに教育・保育現場で実践者としての活動ができるように、子どもに関する心理面・身体面の専門的理解のための講義科目、音楽・美術など教育・保育実技の演習科目、教育・保育現場における実習科目がバランスよく学べるようになっています。特に、実習にあたっては、事前の指導をしっかりと行い、学生から社会人への移行教育の視点から、マナー・言葉遣い・文書作成等の資質を養っています。さらに、実習後に個別指導を行い、実習の成果が定着するような支援にも力を入れています。



韓国研修旅行



造形展

### 多彩なイベントと自主的な表現（研究会）活動

初等教育科では30年以上前から継続して風揚げ大会や、ミュージックフェスティバル、造形展など多彩な学科行事を通して、感性を育てるとともに、学生の自主活動である「研究会活動」も支援しています。研究会にはダンスや人形劇、パネルシアター、エプロンシアター、音楽紙芝居



わくわくフェスティバル



風揚げ大会

などがあり、保育・教育現場で生かせる表現力を、それぞれの学生の特性に応じて身につけることができるよう、学内外で活発な活動を展開しています。さらに、学生が主体となった「わくわくフェスティバル」というイベントを毎年開催し、地域の子供達と交流し、楽しい一日を過ごしています。

### 高い就職率と専攻科への進学

卒業後の進路は保育士や幼稚園等の専門を生かした就職がほとんどで、就職希望者は100%の就職率を誇っています。また毎年20～25%は専攻科に進学します。

専攻科福祉専攻は保育士を基礎資格とした、1年課程の専攻科で、介護福祉士の資格を取得できます。初等教育専攻は小学校・幼稚園の教職一種免許が取得できる専攻科です。専攻科の詳細は、本誌「教育CloseUp」で紹介します。



ミュージックフェスティバル

## 特集 2 司書課程、司書・司書補講習の歩みと現状

### 図書館で働く“情報専門職”司書養成の取り組み

本学では図書館で働く専門職員である司書を養成するため、司書課程を設置し、さらに夏季集中講義・演習形式による司書・司書補講習を開講しています。

司書養成教育では、現在の高度情報化社会において多様化する情報資源・技術を反映した図書館奉仕・情報サービスに主眼を置き、先進的な実学教育を実践しています。

本学は司書課程と司書・司書補講習の教育を通して、地域の公共図書館および大学・専門図書館へ優秀な人材を送り出してきました。以下、その取り組みについて報告したいと思います。

#### 司書課程の歩みと展望

本学は県下唯一の司書課程設置大学であり、本学卒業の司書は、長年にわたり、地域の図書館運営を支える中核的な役割を果たしています。司書課程は、1968年の開設以来、約半世紀の間に3,512人（2012年3月現在）の司書を社会に送り出してきました。本学卒業生の図書館・情報機関への就職（2010年2月現在）は、把握できているかぎりですが、公立図書館15人、学校図書館10人、専門図書館1人、大学図書館13人、市役所情報専門部署3人で、それぞれ現職として専門性を発揮しています。なお、司書課程修了者の卒業時における図書館への就職実績は、以下のとおりです。

表 1 過去 7 年間の図書館への就職実績

| 卒業年月        | 採用数（人） |
|-------------|--------|
| 平成 18 年 3 月 | 8      |
| 平成 19 年 3 月 | 4      |
| 平成 20 年 3 月 | 3      |
| 平成 21 年 3 月 | 4      |
| 平成 22 年 3 月 | 6      |
| 平成 23 年 3 月 | 12     |
| 平成 24 年 3 月 | 4      |

（平成 23 年度「別府大学の就職状況」による）

昨今の厳しい雇用情勢に関わらず、司書資格を取得した学生の多くが県内外の図書館等で勤務しており、情報専門職＝司書として図書館運営の現場を支えています。

現在、司書課程では図書館法（第5条）に規定される司書の資格を新規に取得しようとする学生を対象に、司書養成の教育を行うとともに、図書館の利用方法（学習スキル）や資料・情報資源の探索・活用方法（情報リテラシー）習得のための図書館利用教育を展開しています。

2012年4月から、図書館法施行規則の一部を改正する省令

が施行されたことを受け、本年度より司書資格取得に必要な科目に関するカリキュラムの変更を行いました。下表のとおり、図書館情報学に関わる基礎科目や図書館サービス・情報資源に関する科目、および選択科目（計24単位）を履修することで、司書資格を取得することができます。

また、教職の免許とあわせて、児童・生徒の健全な教養の育成と読書活動・資料活用に携る学校図書館の司書教諭の資格も取得することができます。

表 2 司書資格取得に必要な科目一覧

|      | 区分            | 科 目               | 単位 |
|------|---------------|-------------------|----|
| 必修科目 | 基礎科目          | 生涯学習概論            | 2  |
|      |               | 図書館概論             | 2  |
|      |               | 図書館情報技術論          | 2  |
|      |               | 図書館制度・経営論         | 2  |
|      | 図書館サービスに関する科目 | 図書館サービス概論         | 2  |
|      |               | 情報サービス論           | 2  |
|      |               | 児童サービス論           | 2  |
|      |               | 情報サービス演習Ⅰ（情報検索）   | 1  |
|      |               | 情報サービス演習Ⅱ（レファレンス） | 1  |
|      | 図書館情報資源に関する科目 | 図書館情報資源概論         | 2  |
|      |               | 情報資源組織論           | 2  |
|      |               | 情報資源組織演習Ⅰ（目録）     | 1  |
|      |               | 情報資源組織演習Ⅱ（分類）     | 1  |
| 選択科目 | 2科目選択         | 図書館基礎特論           | 1  |
|      |               | 図書館サービス特論         | 1  |
|      |               | 図書館情報資源特論         | 1  |
|      |               | 図書・図書館史           | 1  |
|      |               | 図書館施設論            | 1  |
|      |               | 図書館総合演習           | 1  |
|      |               | 図書館実習             | 1  |



図書館での演習風景

さらに、学生には情報関連科目のスキル向上を目指すべく、本学を会場に行われる「情報検索基礎能力試験」((社)情報科学技術協会主催)の受験を推奨しています。受験対策として、11月の試験までの約2か月間、毎週土曜日に試験対策講座を実施しています。試験は、毎年20～30人程度が受験し、合格率も年平均66%～95%で推移しています。同試験はいわば情報技術に関する専門試験と位置づけられます。本学学生の合格率は、一般の文系学生の受験という観点からみれば、全国平均合格率80%と比べて遜色のない優秀な結果です。

### 司書・司書補講習の歩み

本学は1961年以来、文部科学大臣委嘱の「司書・司書補講習」を実施しています。2011年度は全国13大学で「司書・司書補講習」が行われましたが、中でも本学は歴史の古さと開講以来のすぐれた講師陣、及び恵まれた教育・宿泊環境などが高く評価され、「司書講習の別府大学」として広く名前を知られています。以下、本学の講習の特色を挙げてみます。

- ①地方にありながら、長期間講習を継続しており、これまで司書6,172人、司書補3,343人、計9,515人の修了生を出し、その多くが全国各地の図書館で活躍しています。
- ②厚生労働大臣から「教育訓練給付制度講座」の指定を受けており、中途退職した社会人の再出発への支援につながっています。
- ③長期講習(司書は9週間、司書補は6週間)に臨む受講生のために、徒歩15分の鉄輪温泉郷に低価格の宿泊施設を確保しています。

司書講習は、多様なバックグラウンドを有す人材を司書と

して養成できる唯一の方法であり、幅広い知識と視野の獲得を目指す実学教育に主眼を置いています。

### 司書課程による地域協力

本学が地域社会に立脚する大学であることから、司書課程では、地域の図書館活動の振興に協力しています。2004年から毎年「子どもの読書活動推進研修会」を実施し、学校図書館司書など、子どもの読書活動に携わっている人々に研修の機会を設けています。また、2009年には小中学校教師向けの研修用DVD教材「深め発見する喜び 言語力とメディア活用能力の向上を目指す教師の支援」を作成し、県内の小中学校に配布しました。さらに同年から図書館の現職者を対象に、情報提供能力とコミュニケーション技法の能力開発に主眼を置いた「スキルアップセミナー」を開催し、好評を博しています。

本学の司書養成教育では、学生および受講者が自分自身で生き方を選択することができる基礎的能力を向上させること、及び自己判断・自己責任型の現代社会において求められる選択能力や規範意識を身に付けさせることを、第一義の目的として位置づけています。今後も情報技術環境の変化に対応できる人材の育成に努め、地域社会や図書館界の要請にマッチした司書養成に取り組んでまいります。



司書講習の授業風景

## 別府大学のアーカイブズ教育

アーカイブズは「保存記録」と訳されます。どんな組織や個人でも文書を作り、受け取ります。それらはドキュメント(文書)です。ドキュメントが保管されると、それはレコード(記録)と名前を変えます。レコードは必要がなくなれば廃棄されますが、特別にメモリアルとして残すものをごくわずかに選び取り、永久保存にします。それがアーカイブズ(保存記録)なのです。

アーカイブズを永久保存しておく所も英語ではアーカイブズと呼ばれます。日本では公文書館や文書館、記録資料館などと名付けられています。

本学ではこれらの施設に従事し、アーカイブズを専門的に取り扱う職員の養成に取り組んでいます。

### アーカイブズをとりまく現状

日本におけるこの分野の問題は、国や県市町村の公文書がアーカイブズになることなく廃棄されつづけてきたことでした。国立公文書館はありましたが、内閣府の記録しか受け入れず、各省庁の記録は省庁まかせでした。ようやく公文書管理法が2009年に制定(2011年4月施行)され、省庁の記録もアーカイブズとして国立公文書館に保存されるようになりました。おいおい各県も同様の条例が定められるなど、確実に文書管理・保存を充実する機運が高まりつつあります。今年4月には佐賀県が公文書館を開設しました。福岡県も11月の開設が予定されています。これで九州には大分・沖縄・佐賀・福岡の各県、福岡・北九州・天草・北谷の市町がアーカイブズ施設を持ちます。今後も開設の動きが続きそうです。また民間企業でも企業アーカイブズが生まれています。



中津市でのアーカイブズ講座(ふすまの下張り文書の解体)

### 本学のアーカイブズ教育の取り組み

本学では、これから日本では文書の管理や保存が重要な問題となることを予見して、平成16年(2004)に文書館専門職(アーキビスト)養成課程を設置しました。当課程は史

学・文化財学科の学生が履修します(5期生までは史学科と文化財学科の2学科でした)。

当課程では、実務能力の養成を重視して実習を行っています。地域資料の整理・保存の実務実習は、中津市と協力して5日間の集中合宿を行っています。中津市も「アーカイブズ講座」と名付けて、高校生も部分的に参加しました。公文書館業務の実務実習は、大分県立公文書館で行っています。実習ではそれまでの授業で得た知識の応用力と、判断力、行動力が磨かれます。

当課程の学生は、課程授業を履修していくなかで、在学中に準デジタル・アーキビスト資格(日本デジタル・アーキビスト資格認定機構)と記録情報管理者資格(日本記録情報管理振興協会)を取得することができます。その上で卒業時に大学認定の資格が付与されます。デジタルとレコードマネジメントに当たれる人材は、公共団体だけでなく、企業でも求められています。

大学院ではアーカイブズ学の論理を学びながら、大分県先哲史料館と協力して同館で実際のアーカイブズに触れるなどして実務能力の向上に磨きをかけます。大学院の卒業生は、日本アーカイブズ学会認定のアーキビスト資格を申請することができます。ようやく今年から制度化されたものですが、今後の拡大が期待されます。



9月の公文書館実習 明治時代の公文書のレファレンス

### 卒業生の活躍

文書館専門職養成課程を履修して卒業した学生は5期生、82名に及びます。卒業生は、大学院に進学した後に社会に出た者も含めて、大分県公文書館、沖縄県公文書館、天草アーカイブズ、佐賀県立図書館で実務に当たっています。沖縄県公文書館の非常勤勤務の後に、琉球大学附属図書館に正規に就職した卒業生もいます。前述の公文書管理法には、国立大学法人も大学アーカイブズを設置することが含まれています。また企業に就職した者も、文書管理(レコードマネジメント)に当たる能力を持っています。今後は民間での需要も広がることが期待されています。

## 短期大学部 専攻科（福祉専攻・初等教育専攻）の教育

短期大学部の専攻科には、現在 2 つの専攻がありますが、両専攻とも大学評価・学位授与機構に認定され、教育の質が保証された専攻科です。しかし両専攻では教育目的も教育内容や取得資格・免許等も大きく異なります。

1988 年に設置された福祉専攻は、1 年課程の専攻科で、介護福祉士の養成課程としては、九州で唯一の学位授与機構認定の専攻科です。また、1995 年に設置された初等教育専攻は、2 年課程の専攻科で、短大の専攻科としては、1999 年全国で最初に小学校教諭一種免許の養成課程に認定されました。

### 福祉専攻の教育

専攻科福祉専攻は1年課程の専攻で、短大での保育士資格をもとに1年間の修学で介護福祉士の資格を取得できます。本専攻を修了すれば、国家試験免除で介護福祉士の資格を申請することができます（2015年3月修了まで）。修了した学生は、短大の2年間と専攻科の1年間の3年間で、保育士・幼稚園教諭・社会福祉主事任用資格に介護福祉士の資格が加わり、福祉関連の主要な資格を併せ持つことができます。

専攻科福祉専攻では、深い人間理解と豊かな人間性を備えた優れた介護福祉士の養成を目指しています。また、対人援助の問題を探求する姿勢、現代の多様な課題を発見・分析・解決する能力を備えた介護福祉士を養成するため、課題研究についての基盤や態度を備えた人材を育成することに力を注いでいます。

修了生たちは介護福祉士・保育士・幼稚園教諭等の資格を生かして活躍しており、社会からの高い評価を得て、それぞれの分野で指導者となっています。



車椅子体験

### 毎年100%を誇る福祉専攻の就職実績

教員のきめ細かな進路指導と初等教育科との連携により、毎年100%の就職率を誇っています。就職先は、介護福祉士として各地の高齢者施設や障害者施設で就職するほか、保育士、幼稚園教諭など専門職がほとんどです。なかでも、近年、保育士と介護福祉士の資格が評価され、公務員として公立保育所で正規に採用される者が続いています。

### 初等教育専攻の教育



学外授業

初教教育専攻は大学評価・学位授与機構に認定されており、2年間の在学中に学士の学位が取得できます。この学位を基礎資格として、小学校教諭一種免許状と幼稚園教諭一種免許状が取得できます。

また、定員10名の少人数教育により、教員との対話やディスカッションのできる授業や模擬授業等の演習科目が充実しています。「修了論文」では、さらに少人数のゼミに分かれ、各自の研究調査や発表に取り組んでいます。充実した実践教育の中でも特筆されるのは「教育マイスター研修」です。これは、文部科学省の教員養成GPIに採択された特色ある取り組みで、現在では「教職実践演習」単位の一部になっています。通常の教育実習における実習生としてではなく、TTやATとして別府市内の小学校で、2年次後期の10月～12月に週3回×10週間、計30日間研修します。このゆったりとした時間の中で、ベテランの先生に「弟子入り」し、教師に必要な人間性や学級運営の秘訣などを間近に学ぶことができます。

### 高い教員の採用実績

初等教育専攻への入学者は、入学時から教職への意識が高いのも特色です。意識の高い仲間とともに、徹底した少人数教育環境のもと、上記のような充実した教育プログラムを受けることで、学生の教職に対するあこがれや不安は、誇りや自信へと変わっていきます。修了生はほぼ全員が県内外で教職に就いています（小学校9割、幼稚園1割）。



日和先生はソーシャルワークの専門家です。一般にはまだなじみの薄いソーシャルワークやソーシャルワーカーについて、さまざまなことを教えていただきました。

### 信頼されるソーシャルワーカーを育てたい

#### 一 福祉の道に進まれたきっかけは

高校生のときに部活で怪我をし、2ヶ月入院したことがあります。そのとき、多くの患者さんたちと知り合いになり、皆さん様々な悩みを抱えて入院生活を送っていることを知りました。その経験から、医療や福祉に関心を持つようになりました。大学では指導教官に恵まれ、徐々に社会福祉への関心が深まっていったように思います。

#### 一 社会福祉はカバーする対象が広い

そうですね。社会福祉はよく耳にする言葉ですが、対象が広く、多くの意味合いを含んでいます。簡潔に言い表すとすれば、すべての人が幸せに生きることを追求するための支援や活動ということになるでしょうか。

#### 一 すべての人が幸せに生きる……

人は生きていく上でいろいろな困難に直面します。病気になったり、怪我をしたり、経済的に困窮したり、子育てや介護で悩んだり。そのようなさまざまな問題を抱えている方々が安心して暮らせるように支援するのが、社会福祉の役割です。私は、社会福祉の中でも、とくにソーシャルワークを専門にしています。

#### 一 もう少し詳しく教えて下さい

ソーシャルワークは、日本では多くの場合「相談援助」と訳されます。病気を例に考えてみます。人は誰でも突然病気になる可能性があります、実際に重い病気に倒れてしまうと、生活費や入院費、退院後の生活、社会復帰などさまざまな問題に遭遇することになります。そのようなときに、本人の立場にたち、本人や家族と一緒に問題の整理や解決策の検討を行いながら、本人が自分のおかれている状況と向き合い、自らの力で問題を解決することができるようにサポート

するのがソーシャルワーカーの仕事です。

#### 一 かなりの専門知識や能力が求められるですね

日本では社会福祉士や精神保健福祉士という国家資格が設けられ、一定の質保証が図られています。別府大学は、社会福祉士や精神保健福祉士の養成施設となっています。

#### 一 ほかにソーシャルワーカーの求められる場面は

支えを必要としている人々はたくさんいます。高齢者、障がい者、低所得者の方はもちろんですが、虐待を受けている子どもやその家族、刑務所を出て社会復帰を目指す方、災害の被害を受けた方々……。社会の変容とともに、ソーシャルワーカーの求められる現場は増える傾向にあります。

#### 一 先生は実際にソーシャルワーカーとして勤務されていたと聞きました

病気や事故などで身体が不自由になった方々のリハビリや社会復帰をサポートする病院で働いていました。福祉の現場で学ばせていただいたことを、教育や研究に活かしていきたいと思っています。

#### 一 現在の研究テーマは

現在は「ソーシャルワーカーの援助観」について研究しています。ソーシャルワーカーがどのようなものの見方、考え方をしているのか、ソーシャルワーカーの専門性とは何か、を考えています。また、最近まで認知症高齢者の意味世界の研究にも携わっていました。認知症高齢者の言動はなかなか理解できないと言われることがありますが、認知症高齢者の言動には一つひとつ意味があります。援助者がその人の生活歴と照らし合わせてその言動の意味を考えながら関わることで、その

人にとってより豊かな生活環境をつくることができることがこの研究を通して分かりました。

#### 一 授業ではどのようなことを重視していますか

考える力や対話力の養成です。ソーシャルワーカーには、クライアントとの対話のなかでクライアントの置かれている状況を正確に把握し、何を指すべきか、そのためにはどのような方法をとるべきか等、様々なことを判断する力が求められます。そのため、授業では事例を用いて自分で考えたり、学生同士でディスカッションしたりする機会をなるべく多く取り入れるようにしています。現場ではソーシャルワーカーとして専門的な判断をしなければならないことが次々と起こります。専門知識や技能に加えて、何事にも真摯に向き合う誠実さを身につけてほしいと願っています。

#### 一 社会福祉士を目指す学生にアドバイスをお願いします

人を援助する仕事は素晴らしくやり甲斐があります。ソーシャルワーカーは一生が勉強です。地域から信頼されるソーシャルワーカーを目指して一緒に頑張りましょう。

#### 日和 恭世 先生 プロフィール

- 別府大学文学部人間関係学科助教
- 専門は社会福祉学、ソーシャルワーク
- 大分大学教育福祉学部卒。同大学院福祉社会科学科修士課程修了
- 大学院修了後、農協共済別府リハビリテーションセンターに勤務。
- 宮崎市出身。小学校から大学まで部活などでバスケットボールに打ち込む。ほかにピアノや書道なども。趣味はパン作り。





真っ黒に日焼けしてインタビューに現れた神田先生。スポーツで鍛えた体力と明るさで子どもの野外キャンプ指導に精力的に取り組んでいます。学生時代のこと、保育科のことなどをうかがいました。

## 野外キャンプで子どもたちに「生きる力」を

### ― よく日に焼けていますね

昨日まで学生と一緒に、夏休みの子ども野外キャンプに指導スタッフとして参加していました。2泊3日のキャンプが海辺で1回、草原で2回とたて続けにあったので、合わせて6泊7日のキャンプから帰ったばかりです。昨晩は久しぶりに安心してベッドで寝ました（笑）。

### ― 先生は幼児Canぶ研究会の指導をされていますね

保育科と初等教育科には、学生の保育の実践力を高めるために、先生方の専門分野を活かした11の研究会があり、学生は興味のある研究会に自発的に参加して研鑽を深めることができます。私は幼児Canぶ研究会の担当です。今回スタッフとして参加した学生はこの研究会のメンバーたちです。

### ― 学生には野外キャンプの経験があるのですか

入学時に野外キャンプの経験がある学生はほとんどいません。でも、授業や研究会活動の中で経験を積むことができるので大丈夫です。野外キャンプにスタッフとして参加することで学生自身も大きく成長するし、保育者としての実践力が身につきます。子どもは野外キャンプを通じて多くのことを学び、たくましく成長します。

### ― 現在の先生の研究テーマですね

野外キャンプに参加した子どもの心身の状況を調べると、やる気や身体能力が向上するという結果が出ます。普段生活している家を離れ、自然の中で仲間と思いつき遊び、料理し、ドラム缶風呂で汗を流し、テントを張って寝る。もちろんテレビやケータイはありません。そんな野外キャ

ンプの非日常性や仲間との出会い、共同生活が、子どもを変えていきます。

### ― 学生時代から自然が好きだったのですか

自然が好きというより遊ぶのが好き（笑）。冗談はさておき、学生時代も野外活動に積極的に参加していました。ただ、学生時代は部活で陸上競技をしていたので、どちらかというと走り幅跳びが生活の中心でした。

### ― 大学院に進まれたのは

走り幅跳びで踏み切り脚を酷使し、歩くのにも支障が出るほど痛みがひどかったとき、鍼治療で劇的に改善した経験があります。その不思議さに惹かれて、鍼治療のメカニズムを研究してみたいと考えました。修士課程修了後、母校の助手になったのですが、恩師に勧められて博士後期課程に入り直し、鍼治療の研究を続けました。

### ― 保育科の特長を教えてください

先生との距離が近いことです。先生に気軽に相談できるアットホームな雰囲気はほんとうに素晴らしいと思います。大規模な大学では、学生と教員の関係がもっとドライですから。優しくて個性豊かな先生方が多いことも魅力の一つです。

### ― 就職に関してはいかがでしょうか

保育士や幼稚園教諭を希望する学生は、ほぼ全員が希望どおり就職しています。保育所以外の児童福祉施設などを希望する学生も順調に就職できているようです。就職した卒業生が保育の悩みを相談しに訪ねて来るのも保育科のよいところですよ。経験豊富で面倒見のいい先生が多いですから、卒業生も安心できるのでしょう。私たちにとっても、卒

業生の元気な姿を見られるのは大きな喜びですし、在校生にアドバイスをしてくれるので助かっています。

### ― 授業で重視していることは

からだを動かすことの楽しさ、喜びを学生に感じ取ってもらうことです。子どもにとってからだを動かすことは、身体や運動能力の発達だけでなく、情緒や知的な面での成長にも欠かせません。よい保育者になるには、からだを動かすことを厭わず、その喜びを実感していることも重要な要素です。授業では誰でも参加できるニュースポーツを数多く経験するようにしています。

### ― 学生へのメッセージをお願いします

学生時代は楽しいことや悩むことが多くあると思います。私自身もそうでした。楽しいときは大いに騒ぎ、悩むときは真剣に悩む。そして真剣に自分と向き合うことで、自分を理解し、他人を理解する人間に成長することができます。好奇心をもって、勉強に、研究会にチャレンジして下さい。

### ― 今後の計画は

明後日からまた別のキャンプの指導に行ってきます（笑）。

### 神田 亮 先生 プロフィール

- 別府大学短期大学部保育科講師
- 専門は幼児体育、スポーツ医学
- 福岡大学スポーツ科学部卒業、同大大学院健康科学研究科博士課程後期満期退学。スポーツ科学修士。
- 母校の助手等を経て2010年に本学へ赴任。
- 大学まで走り幅跳びの選手。記録は7m30cmで、九州2位になったことも。
- 趣味は釣りと料理。釣りは自然との対話、独特のゆったりとした時間に癒される。釣った魚は自分で料理する。



## 韓国の学校法人槿英学塾設置の 3高等学校と覚書を交換

2012年5月31日、別府大学と別府大学短期大学部が韓国の学校法人槿英学塾が設置する金烏女子高等学校・江北高等学校・嶺松女子高等学校と指定校推薦入試に関する覚書を交わしました。調印式は槿英学塾理事長の金香子が学長を勤める大邱科学大学（韓国大邱）で行われ、本学の豊田寛三学長が3高校の校長と覚書に調印しました。

槿英学塾とは2005年9月に学校法人別府大学が交流協定を締結とともに、明豊中学・高等学校が当該3高校と交流協定を結んでいます。槿英学塾は高等学校のほか、大学の慶雲大学校及び短大の大邱科学大学を設置しており、本学は同大学との交流を積極的に進めているところです。特に大邱科学大学とは互いに遠隔授業を行ったり、同校が毎年実施する「グローバルTSUキャンプ」に本学学生が参加しています。また、本学が実施する「国際セミナー」には同校の学生が毎年参加しています。今回の覚書交換によって、槿英学塾との交流が一層発展することが期待されます。



前列中央が金学長、右隣のお三方と左端の方が3高校の各校長

## 韓国の龍仁大学校を訪問

2012年7月5日から7日まで、本学の日高紘一郎理事長・友永植文学部長・孫在奉教授が、韓国の龍仁大学校を訪問・視察しました。龍仁大学校は1953年に開学した私立大学で、その後、ソウルオリンピックに向けてスポーツ選手の育成に力を入れました。現在では韓国を代表する体育系の大学に発展し、柔道・テコンドーをはじめとする武道ではオリンピックの金メダリストを輩出しています。当大学の金正幸学長はオリンピックの柔道の金メダリストで、現在、韓国体育協会副会長、韓国柔道連盟の会長を務めておられます。当大学はスポーツ系を中心とする6学部36学科に7,000人の学生が在学し、近年は文化財・アニメ分野（文化芸術学部）の教育・研究にも力を注いでいます。

この度の訪問は、当大学が本学文学部の文化財及びマンガ・アニメ部門との交流をもとめてきたことが契機でしたので、本学一行は主として当校の文化財学科・メディアデザイン学科の教育施設を見学しました。見学後、日高理事長と金総長が意見交換し、今後の両校の交流について話し合われました。



武道場での記念写真

## 中国の江蘇信息職業技術学院と 交流協定を締結

2012年8月4日、別府大学が中国の江蘇信息職業技術学院と交流協定を締結しました。江蘇信息職業技術学院は中国の江蘇省無錫市に所在し、学生10,000余人、教員800余人を擁する江蘇省立の技術系短期大学です。当学院は、電子情報工学や機械工学など理工系の学部のほか、芸術デザイン学や外国言語学など文系の学部の下に、38専門学科を開設しており、現在、ソフトウェア技術やアニメーションデザイン等分野の教育に力を注いでいます。目下建設中の8階建て図書館のワンフロアを打ち抜いてアニメーション製作の施設を設けるとのことです。

この度の協定調印式には、江蘇信息職業技術学院から陸国平学院長・李新翔芸術デザイン学部長ほか3名の関係者が本学を訪れ、豊田寛三学長と協定書を交わしました。

本学は、文学部の国際言語・文化学科にマンガ・アニメーションコースを開講しており、今後、江蘇信息職業技術学院の学生を当コースに受け入れるといった学生間の交流や、教員の相互交流を展開して行くことにしています。



右が豊田学長、左が陸学院長

## フランスでマステールを取得して -モンペリエ第三大学 大学院での留学生活-

田辺 弘子（美学美術史学科 第7回卒業生）

モンペリエ第三大学にはフランス語履修のための語学学校があり、ここから私の留学が開始した。2年間は学生寮に住めたので、月7万円もあればゆったりと暮らすことができて、キッチン、シャワーが付いて、窓から木々が見える寮の生活は贅沢に思えた。ここでの最良の友はフランス語の電子辞書で、これはフランスでは買えない。

大学院の学生は1クラス15人程度、授業は1コマ2時間、週7コマ程で、集中講義もある。学期末の試験に通れば、論文指導が始まる。

休日は近くの港町セットに出かけた。この町には洒落た画材屋や美味しいオイスターのレストランがある。危険だがお勤めなのは、頭上スレスレの橋の下を潜る8ユーロのクルージング。小舟から眺める風景のように留学も目線が、がらりと変わり視界が開けてくる。

今回の留学では別府大学の井上富江先生とモンペリエ大学のマス先生が連絡をとってサポートしてくれたのが大変心強かった。大学の門はヴァザリリの作品である。門を叩け、さらば開かれん。せっかくの留学制度、チャレンジしてみて後悔はありません。



## 新体操部の活動（別府大学スポーツ振興会）

食物栄養科学部発酵食品学科3年  
塩月 健一郎

新体操部では、高松伸枝顧問のもと、1年生1名、3年生5名、計6名で活動しています。

新体操部は、体全体を使い高い柔軟性や跳躍力などによって、優雅でアクロバティックな技を表現するため、日々練習に励んでいます。私は個人競技に出場するので、現在、全日本インカレを目指し頑張っています。写真は演技の一部です。

新体操部は設立3年目で、今年ようやく部に昇格しました。大分県内初の新体操部なのであまり知られていないのですが、新体操の良さを広めること、大会に積極的に参加することを目的として、これからも頑張っています。



練習にはげむ塩月君

## MAPの活動（別府大学文化会）

国際経営学部国際経営学科3年  
伊崎 優太郎

別府大学文化会は文化系サークル19団体から構成されています。

私が所属しているMAPは、イベントを企画するサークルです。企画は年に3回ほど行い、そのたびに数多くのサークルを招き、サークル内・文化会全体の親睦を深めています。企画準備期間中は、通常の活動日もイベントの準備に充てますが、普段の活動では部員の親睦を深めるため、全員で遊んだり、他サークルと交流したりと、みんなで楽しんでいます。

また、春と夏に行うキャンプや防犯パトロールなどのボランティア活動にも積極的に参加し、アグレッシブなサークルを目指して活動しています。



MAPメンバーが勢ぞろい

## 災害ボランティアを派遣

7月の九州北部豪雨で大分県の中津市、日田市、竹田市で甚大な洪水被害が発生いたしました。まずは、お亡くなりになった方々を始め被災された方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます。

地元の別府大学としては、早速3市のボランティアセンターに教職員を派遣して被災調査を行うと共に大学あげて災害ボランティアの派遣体制を整えました。今回は被害が甚大で処理が手つかずのまま多く残っていた竹田市に7月21日（土）・22日（日）・25日（水）の3日間のべ50名の学生・留学生・教職員を派遣しました。竹田市では旧明治小学校、玉来地区、拝田原地区の被災地の後片付け、土砂の搬出などを行いました。参加した学生はボランティアの大切さを学び、被災者からの感謝を受けて、微力でも人の役に立つことを実感していたようです。

復興にはまだまだ時間がかかると思われますが、被害を受けられた方々が一日も早く元の生活がとり戻せますよう切にお祈りいたします。



復旧・復興活動にあたる学生諸君

## 頑張ってます留学生－ウェルカムサポーター－

今年（2012年）6月、別府大学では、別府市に來航する外国からのクルーズ船乗客への通訳・観光案内等を行うための人材として、本学所属の留学生で組織する「ウェルカムサポーター」を創設いたしました。このウェルカムサポーターは、別府市観光まちづくり課とタイアップし、別府市に來航する韓国のクラブハーモニー号、中国のレジェンド・オブ・ザ・シーズの乗客者に対し、それぞれの母国語と英語による通訳ボランティアを行っています。このようなサポーターの活動は、外国人の別府への理解をより促進するとともに、かれら自身の日本語能力の上達にも一躍買っています。

現在、このウェルカムサポーターに登録している留学生は60名で、平日にクルーズ船が來航すると、授業のない学生がサポーターを務めるなど、大学の学習との両立をはかっています。参加した留学生たちは、外国からの観光客に別府の紹介をしたり、電化製品や化粧品などのショッピングの通訳を通して、日常の大学生活では経験できない貴重な体験を楽しんでいます。



観光客のサポートをする留学生

# 新任教職員紹介

① 所属 ② 専門分野 ③ 出身校 ④ 別府大学の学生に一言

## 田中 裕介 (タナカ ユウスケ)

- ① 教授 文学部 史学・文化財学科
- ② 日本考古学
- ③ 岡山大学文学部
- ④ 学生生活は大学とその周辺だけで閉じるわけではありません。考古学につきものの発掘調査はフィールドアーケオロジーともいわれるように、野外の遺跡を研究対象にしています。外に出て現地をみて多くの人とともに考えることで学びます。地域の方やほかの大学の学生と交流して、みずから広く目をひろげて外に出ていける自信を学問を通じて身につけてください。



## 藤井 康弘 (フジイ ヤスヒロ)

- ① 教授 食物栄養科学部 食物栄養学科
- ② 栄養学
- ③ 徳島大学大学院栄養学研究科
- ④ 大学は、いろんな地域からいろんな人が集まって来んでいます。また、自分の知らなかった世界を知る機会が沢山あります。たくさんの友人を作り、よく学び、そして遊び、自分の視野をどんどん広げてほしいと思います。



## 工藤 邦彦 (クドウ クニヒコ)

- ① 准教授 文学部 司書課程
- ② 図書館情報学
- ③ 九州大学大学院人間環境学府
- ④ 大学で学ぶ日常のなかから自分の夢を探してください。一冊の本との出会い、色々な人々との交流から夢が見つかるかもしれません。今はぼんやりとした夢であっても毎日意識して歩みつけることで必ず視界は開けてくると思います。



## 古川 博文 (フルカワ ヒロフミ)

- ① 講師 文学部 人間関係学科
- ② 社会福祉学
- ③ 大分大学大学院福祉社会科学研究科
- ④ 大学生活は、自分固有の目的を作り出すことで、人生のターニングポイントとなり得ます。多くのことを学び、多くのことを経験し、そして自分の道を見つけて下さい。



## 尾口 昌康 (オグチ マサヤス)

- ① 講師 文学部 人間関係学科
- ② 精神保健福祉学
- ③ 西九州大学大学院健康福祉学研究科
- ④ 大学時代は人生の中で一番、時間的余裕がある4年間だと思います。勉強に、趣味に、遊びに、悔いのないよう有意義に過ごして下さい。



## 竹安 大 (タケヤス ハジメ)

- ① 講師 文学部 史学・文化財学科
- ② 英語学・言語学
- ③ 神戸大学大学院文化科学研究科
- ④ 色々なことに興味を持ち、失敗を恐れずにどんどんチャレンジして下さい。ぜひ充実した学生生活を送って下さい。



## 牧 貴愛 (マキ タカヨシ)

- ① 講師 文学部 教職課程
- ② 教師教育、比較教育学、タイ地域研究
- ③ 広島大学大学院教育学研究科
- ④ 難しいと感じる事柄に対して、寸時を惜しんで倦まず弛まず、納得がいくまで取り組んで下さい。難しさにこそ、楽しさ、面白さの源泉があります。



## 岡留 政嗣 (オカドメ マサツグ)

- ① 教授 短期大学部 初等教育科
- ② 音声表現、話しことばによるコミュニケーション
- ③ 上智大学法学部
- ④ 今、コミュニケーション力を高めることが各方面から求められています。コミュニケーションは、自分の考えが相手に伝わる、相手の話を理解することです。その道具となるのが「ことば」です。伝わる話し方を身につけて、皆さんが持っている力を存分に発揮しましょう。



## 三浦 清 (ミウラ キヨシ)

- ① 准教授 短期大学部 初等教育科
- ② 教科教育 (理科、算数)、教育実習
- ③ 福岡教育大学教育学部小学校課程
- ④ 教育という職に携わろうとしている崇高な『志』を大切にしてしっかり頑張ってください。



## 三ヶ尻 政人 (ミカヅリ マサト)

- ① 准教授 短気大学部 初等教育科
- ② 教科教育 (国語、社会)、教育実習
- ③ 青山学院大学経済学部
- ④ 青春真っ只中のみなさん、みなさんの「夢」と「希望」の実現に向けた努力に少しでもお役に立てればと思っています。何事にもチャレンジして下さい。



## 島田 隆樹 (シマダ タカキ)

- ① 准教授 短期大学部 初等教育科
- ② 教職教養
- ③ 広島大学理学部
- ④ 自分の夢を実現するためには、努力を惜しまないことと他人への感謝の気持ちを忘れないことが大切です。  
「能力の差は小さく、努力の差は大きい」ことを肝に銘じて悔いの残らない学生生活を送ってください。



## 小野 貴美子 (オノ キミコ)

- ① 准教授 短期大学部 初等教育科
- ② 臨床心理学
- ③ 大分大学大学院教育学研究科
- ④ 学生時代の1年は、その後の何年分にも相当すると思います。たくさんの出会いを経験してください。それがあなたの宝になります。



## 柴田 龍太郎 (シバタ リュウタロウ)

- ① 准教授 短期大学部 保育科
- ② 教育制度
- ③ 広島大学理学部
- ④ 「盛年重ねては来たらず 一日再び 明日成りがたし 時に及んで まさに勉勵すべし 歳月人を待たず」  
若い時代は二度と来ないものです。だから一日一日を大事に過ぎて欲しいと願っています。



## 吉田 幸徳 (ヨシダ ユキノリ)

- ① 法人事務局 財務部参与
- ③ 岡山理科大学理学部電子理学科
- ④ 大学生活では、「これがしたい」という目的意識を持ち、自分自身についても深く考え、新しい発想ができるようないろいろな知識を蓄えましょう。



## 三重野 修次 (ミエノ シュウジ)

- ① 大学事務局 学生事務部 キャリア支援課キャリア支援マネージャー
- ③ 九州工業大学工学部電気工学科
- ④ よろしくをお願いします。



## 幸 望夫 (ユキ モチヲ)

- ① 大学事務局 学生事務部 学生課
- ③ 福岡大学経済学部産業経済学科
- ④ 学生時代に名作を100冊読んでみたり、名曲を100曲聴いてみませんか。  
人生の「肥やし」や「癒し」になりますよ。これは、私が学生時代に恩師から頂いた言葉です。



## 阿部 智実 (アベ トモミ)

- ① 大学事務局 教務事務部教務課 食物栄養学科 出向実験助手
- ③ 別府大学食物栄養科学部食物栄養学科
- ④ 最後まで諦めずに夢に向かって頑張ってください。



## 朝井 智子 (アサイ トモコ)

- ① 大学事務局 教務事務部教務課 短期大学部 初等教育科出向
- ③ 別府大学短期大学部初等教育科
- ④ 学生生活はあっという間なので、後悔のないよう思いっきり楽しんで充実した学生生活を送って下さい。



## 栗林 美優 (クリバヤシ ミユ)

- ① 入試広報事務局 入試広報課
- ③ 別府大学短期大学部地域総合科学科
- ④ 今しかできないこと、今やりたいことを思いっきり楽しんでください。  
自分を信じて、多くのことにチャレンジし、より良い大学生活を送ってください。



## 本学卒業生の石津 優君が ロンドンオリンピックで活躍

法人

本学の文学部人間関係学科卒業生（2010年卒）石津 優君が、ロンドン・オリンピックのアーチェリー種目に出場し、団体戦でベストエイトに入る活躍をしました。

石津君は、去る6月21日、アメリカで開催されたアーチェリーのロンドン・オリンピック世界最終予選において上位の成績をあげ、見事、オリンピックの団体戦出場メンバーに選ばれました。

オリンピックでは、日本勢（世界ランク8位）はランキングラウンド5番目（12チーム中）の成績で本番に臨みました。1回戦では格上（世界ランク3位）のインドを延長のすえ破り、準々決勝に駒を進めました。しかし、2回戦で対戦したアメリカ（世界ランク1位）に＜219-220＞の1点差で惜しくも敗れ、メダルを獲得することができませんでした。

石津君は、在学中に平成19年の「秋田国体」に出場しており、すでに十分な実力を備えていましたが、卒業後の更なる研鑽が今回の快挙につながったことと思います。石津君のロンドンオリンピックでの奮闘を讃えるとともに、次期リオ・オリンピックに向けての活躍を期待したいと思います。



別府大学同窓会の懇親会で挨拶する石津君

## 第3回「クラサン杯」1位獲得の快挙

国際言語・文化学科

国際言語・文化学科マンガ・アニメーションコースの藤本一茂君が小学館の『少年サンデー』が運営するコミックサイト「クラブサンデー」上で開催される学生マンガコンクール「クラサン杯」で第1位に輝きました。全国の大学、専門学校からエントリーされたマンガ作品から読者反響に編集部審査の結果を加味して順位が決まるものです。主催者側によると今年は前回は大幅に超える数の作品が集った上に平均レベルも大変に高いものとなったそうです。その中で藤本君の作品は「読者審査で頭一つ抜けた評価を得た」とされています。賞金とともに「少年サンデー」もしくは「クラブサンデー」への新作掲載権が与えられ、今後の活躍が期待されます。



学長に受賞を報告

## 別府大学史学研究会大会「災害と歴史学」を開催

史学・文化財学科

2012年6月23日(土)に別府大学史学研究会大会が開催され、多数の聴衆が集まりました。今年のテーマは、災害です。過去の歴史を振り返ってこれからの防災に役立てる、という観点で行われました。本学教授の田中裕介氏が「地震と火山噴火からみた大分県の古代の災害」の講演で、大分では縄文時代から大きな地震が7回確認できることや、別府での噴火と水蒸気爆発について詳しく分析しました。大分県先哲史料館の平井義人氏は「史料からみた大分県の地震と津波」の講演で、宝永の地震の実態を史料から明らかにし、具体的な過去の災害の実例をもとに現在の県の防災計画の見直しが行われたことを紹介し、これがアーカイブズの活用だと説明されました。



史学研究大会の様子

## 「生涯学習論」で小学生と交流

人間関係学科

地域で学ぶことを奨励する人間関係学科では、学科専門科目の「生涯学習論」において大学生と近隣の小学生との交流が行われています。2009年度から続く交流は4年目を迎えました。

この交流は、大学生と小学生が親睦を深め、大学生が地域のお兄さん・お姉さんとして子どもを見守る関係づくりを目的としています。「近所のお兄ちゃんお姉ちゃん」という立場で、週一回の学習サポーター活動（〇付けやパソコン指導など）に取り組んでいます。

数回の交流が終わる頃、殆どの学生が「一生懸命な子どもの姿」に心を打たれ、自分自身の生き方を見直そうと感ずるようです。生涯学習は「人との出会いを通じた相互学習」であることを、学生は子どもから教わっているようです。



小学生と交流する学生

## 学部開設10周年記念式典を開催

食物栄養学科・発酵食品学科

2012年4月22日(日)、学部開設10周年を祝う記念式典・講演会が開催されました。式典では、日高紘一郎理事長、豊田寛三学長より、開設時の苦労話や学部の社会的意義などを交えた挨拶があり、大分県福祉保健部健康対策課内田勝彦課長、大分県栄養士会安部澄子会長より、ご祝辞をいただきました。

江崎一子学部長による「10年のあゆみ」の紹介後、本学客員教授である発酵学者の小泉武夫先生により、「先人の知恵に学ぶ非常時の食生活」をテーマに記念講演会が行われました。

これまで食物栄養科学部を支えていただいた関係各方面の方々に謝意を表すとともに、学内外に本学部の意欲を披露し、さらなる飛躍を宣誓する式典となりました。



記念講演会の様子

## 高等学校生物担当教員学術交流会を開催

発酵食品学科

2012年8月17日（金）、高等学校生物担当教員学術交流会が発酵食品学科にて開催されました。これは大分県高等学校生物教諭の夏季研修会で、発酵食品学科は県内唯一のバイオ系の大学として、毎年本学科で開催しております。午前は本学科の大坪素秋教授が「加速する生命科学」と題したセミナーを行いました。今話題のiPS細胞など、最先端の生命科学研究をわかりやすく解説し、高校の先生方も大変興味深く聴講されていました。午後は林毅准教授による「高校教育のための遺伝子・タンパク質実験」と題した実習が行われ、高校で実施可能な遺伝子とタンパク質実験を行いました。本年度から理科は新課程が導入され、文部科学省は授業の中で実験を導入することを要望していますので、非常に参考になったとの声が多く聞かれました。



林毅教授による実習の様子

## 中華料理講習会を開催

食物栄養科

2012年6月30日（土）・7月1日（日）、短期大学部食物栄養科が、孫関義先生（横浜中華街の上海料理の名店「四五六菜館」オーナーシェフ）をお招きし、「中華料理講習会」を開催しました。

1日目は学生を対象としたデモンストレーション、2日目は一般の方々も参加した調理実習と講演会を行いました。

「白酢豚」や「麻婆豆腐」など9品の料理に加え、家庭用コンロでできる「炒飯」の作り方など、中華料理のコツを丁寧に指導していただきました。学生は、初めて見る中華包丁・まな板・鍋などの使い方や本場の味付けを熱心に学び、2日間を通して貴重な経験をすることができました。一般受講生も孫関義先生が作りだす中華料理の本物の味に満足そうでした。



料理講習会の様子

## 学生自らがツアーを企画 ー「観光学概論」で門司港と中津市へー

地域総合科学科

地域総合科学科では「観光学概論」の授業で観光ツアーを学生自らが企画し、実施しています。教員の指導を受けながら学生自身が旅程・パンフレット作成からツアーガイドまで自主的に行うことで、実践力を身につけて将来の就職に役立てるとというのが目的です。6月30日（土）の「門司港レトロツアー」では、途中雨に見舞われ予定変更をせざるを得ない状況に遭遇し、学生たちは企画・運営の難しさを実感しました。また7月21日（土）には歴史と食文化をテーマに「中津市ツアー」を行いました。福沢諭吉邸

では大分が育んだ偉人について学びました。そして創業111年の料亭「筑紫亭」では女将さんの講義を受け、魚料理を中心とする大分が誇る料理を味わいました。



中津「筑紫亭」での講義の様子

## トヨタ工場見学で経営戦略を学ぶ

国際経営学科

2012年7月5日（木）、国際経営学科1年生が、第2次オリエンテーションの一環としてトヨタ自動車九州の宮田工場（福岡県宮若市）を見学しました。長期にわたる景気低迷に加え、このところの円高傾向で打撃を受けている自動車産業ですが、それでも活気のある生産過程を見ることによって、日本企業のたくましい経営戦略の一端を学ぶことができました。

宮田工場で生産されているのはレクサスなど高級車。注文を受けた分だけ生産する方式で無駄をなくしているとのことでした。学生らは生産ラインに乗ったレクサスが完成するまでの手際良い過程、欠陥車を出さないための多くの工夫などを1時間かけて徒歩で見学し、めったに見ることのできない光景に強い興味を示していました。



トヨタ工場見学風景

## 短期大学部初等教育科・保育科「造形展」を開催

初等教育科・保育科

2012年7月20日（金）～22日（日）、大分市のアートプラザにおいて初等教育科・保育科の美術関係の授業の集大成として展覧会「造形展」が実施されました。

去年9月から今年7月にかけて授業内で製作したそれぞれの作品は、来場者の感心と驚きを呼びました。

造形展では、附属幼稚園の園児の作品の展示コーナーや、保育科製作による「子どもの遊び広場」、初等教育科の壁面構成やモダンテクニックの巨大展示、紙芝居・立体風・ダンボール遊具、そして実際に子ども達に造形遊びを楽しんでもらうコーナー等があり、子ども達の楽しそうな声に包まれていました。造形展は3日間という短い期間でしたが、600名以上の参加者があり、幼児の造形活動について楽しく学べるとともに、展示方法についても考えることのできる展覧会でした。



造形展の様子

## わんぱく子どもまつりを開催

保育科

2012年7月21日（土）、植田公民館にて「わんぱく子どもまつり」を開催しました。保育科1年生が植田公民館と協働で開催するようになって、今年で4回目となります。今年は、約100組の親子が植田公民館に足を運んでくれました。

当日、子どもたちは、段ボールトンネルや魚釣り、折り紙コーナー、絵本の読み聞かせ、リズムダンス等々、学生が準備したコーナーでとても楽しく遊んでいました。フィナーレでは、お土産の手作りメダルを首にかけて学生との別れを惜しんでいました。

保育科において1年次のこの体験は、9月の幼稚園観察実習や2月の保育所実習へと意欲を高めるものとなっています。また、公民館や地域の方々との協働作業は、地域との連携を実感する良い機会となっています。



学生と子どもたちの遊びの風景

## 第19回 卒業生との懇談会を開催

附属看護

2012年7月21日（土）、別府大学附属看護専門学校同窓会協賛のもと、第19回の卒業生との懇談会を開催しました。

今年度は、第16回卒業生で老人ホームを経営されている方、病院で新人教育を担当している方、卒後3年目の新人看護師の3名をお迎えし、卒業後の歩みや看護への思い・後輩へのメッセージなどを話して頂きました。

16回卒業生の方からは、本会の起源について話して頂き、現在、卒業生が約2800人にのぼる看護学校の歴史と同窓会との連携の深さを感じました。

講演後学生たちは、看護職の活動の場は広く、何事も勉強であること。私達は、常に周囲の人々から助けられていて「何事にも感謝の気持ちをもつこと」。さらには、実習で出会う患者さんやクラスメイト等、人とのつながりを大事にしていくこと。など今後の学校生活や学習への意欲につながったようです。



懇談会の様子

## 韓国・台湾と交流を重ねて

明豊中学・高等学校

明豊中学・高等学校は韓国をはじめとして現在12の姉妹校があります。明豊は開校以来、国際交流事業を積極的に進め、姉妹校以外にも、本学園の「別府大学国際セミナー」の開催に当たっては、参加した韓国・台湾の高校生とも交流行事を実施しています。生徒同士がゲームで親睦を深めたり、互いの国の高校生気質を質問し合うなど、和気藹々の雰囲気の中で、生徒の国際感覚が養われています。

国際交流の取組はこれに止まらず、インターアクトクラブの韓国との交流事業にも積極的に参加し、音楽発表や食事で個人交流を深めています。また、今年は明豊中学校の訪問団が韓国・鶴山女子中学校を訪れ、今年の8月10日から2泊3日でホームステイをメインとする交流を行いました。生徒にとっては、ホストファミリーのもとで韓国文化に直接ふれる良い機会となりました。本校としては、今後、このような国際交流をさらに積極的に進めて行くことにしています。



韓国・鶴山女子中学訪問の様子

## 「七夕」を通じた地域交流

附属幼稚園

2012年7月2日（月）に桜ヶ丘自治会の方に呼び掛け、附属幼稚園で七夕飾り作りをおこないました。この日は6名の方が来園してくれ、各クラスに仲間に入り一緒に飾り作りを楽しみました。包装紙や糊・ハサミを使い一緒に輪つなぎや紋切りを作ったり、だまし舟や鶴などの折り紙を教えてもらったりと、限られた時間でしたが、園児たちは地域のおばあちゃん達との触れ合いを楽しみました。翌週には、七夕笹焼き集会をおこない、自治会の方が再び来園してくれました。『七夕さま』の歌を一緒に歌ったりお願いごとをしたりして、空に昇っていく煙と一緒に眺めました。今年初めての試みでしたが、新たな地域交流の第一歩となりました。今後はバザーや餅つきなどの行事だけでなく、日頃の園児の姿を見てもらったり、一緒に遊んだりして交流の幅を広げていきたいと思っています。



自治会の園児たち

## 同窓会評議員会・懇親会を開催

同窓会

2012年8月18日（土）、別府大学同窓会評議員会が、本学3号館ホールで開催されました。金田信子会長が同窓会会長に就任して1年、在学生への奨学金制度設立や同窓会ホームページ「ビギタ」の開設等、様々なアクションを起こしてきました。評議員会に提出された議題は承認され、滞りなく評議員会を終えることができました。またホテルサンバリアアネックスで行われた懇親会では、ロンドンオリンピックアーチェリー競技に出場した人間関係学科卒業の石津優氏も参加され、盛会のうちに終わることができました。今後も、同窓会の発展ならびに別府大学・別府大学短期大学部の発展に寄与すべく一同努力してまいります。



評議員会の様子



懇親会の様子

## I 経営基盤の強化

### 1. 中長期的な経営戦略への取組

経済情勢をはじめ私学を取り巻く環境が極めて厳しい状況の中で、教育研究活動や社会貢献活動を持続的に発展・強化させるためには、目指すべき将来像の実現に向けた中長期的な経営戦略を明確に示し、それに基づく教育研究や法人運営を推進し、地域社会との連携強化を図っていくことが重要です。

平成 23 年度においては、中期計画検討会議において中期計画の策定に向けた検討を進め、平成 24 年 4 月から本学校法人の中長期的な経営戦略である中期計画を実施することとなりました。

### 2. 財政基盤の強化

平成 23 年 4 月に第 4 次中期財務計画をスタートさせ、教育研究施設設備の充実、学生募集活動や広報活動の充実・強化及び寄附募集活動や情報公開の推進を図るとともに、Ⅱの事業の概要に記述する教育研究活動や社会貢献活動を発展・強化するための主要事業を推進しました。なお、この財務計画は平成 24 年度から実施する中期計画に包括させます。

## II 事業の概要

### 1. 大学・短期大学部

#### (1) 大学改革の推進

学士力や就業力を高めるための諸改革及び学業評価制度（GPA）の効果的な運用、成績不振者に対する個別指導の充実、中途退学者の減少に向けた取組など学生へのきめ細かな履修指導や学習支援の促進に努め、特色ある魅力的な大学づくりに取り組まれました。また、学科の入学定員では、平成 23 年度から文学部国際言語・文化学科は 170 名から 120 名に、史学・文化財学科は 160 名から 120 名に変更し、定員の適正規模化を進めました。なお、平成 24 年 3 月には、短期大学部とともに、5 ヶ年計画「別府大学未来へのアプローチ（教育研究発展計画 2012-2016）」を作成しました。

#### (2) 教育研究活動の推進

##### (大学・短期大学部門)

##### 1) 教育研究活動の充実・強化

- ① 学内の知を結集し、地域の特性を活かした「温泉学の構築」をテーマとした研究会活動を活性化させました。
- ② 県内大学等との大学間連携を推進しました。
- ③ 大分大学との単位互換制度を推進しました。
- ④ 日本高等教育評価機構及び短期大学基準協会の改訂された評価項目に沿って自己点検・評価及び学生による授業評価を実施し、その結果を自己点検・評価報告書としてまとめました。
- ⑤ ホームページの充実を図り、各種の情報を広く公表するとともに、授業計画書（シラバス）及び研究者総覧の充実・改善に努めました。
- ⑥ 導入演習や基礎演習をはじめとするゼミ形式での授業内容の改善に取り組み、学生の学士力、就業力などを高める教育の充実に努めました。
- ⑦ FD（ファカルティ・ディベロップメント）の内容充実を図り、教育内容・方法等の改善に資する取組を強化するとともに、適時に教職員啓発セミナーを開催し、資質向上と意識改革等に努めました。
- ⑧ 図書館では、本学の知的情報の電子化や公開の促進に努めました。国立情報科学研究所から学術機関リポジトリ構築連携支援事業の委託を受けて、500 件前後の文献や未公開の論文について調査しました。また、本学に寄贈された 1 万冊の蔵書をはじめ所蔵する貴重なコレクションの目録を整備しました。

##### 2) 高度情報化への対応

- ① メディア教育・研究センターでは、サーバー関連機器等の更新を実施し、コンテンツ教材の開発や e-Learning の活用等を促進しました。
- ② 短期大学部では大邱科学大学（韓国）と通信メディアを利用した遠隔交流授業を推進しました。

##### 3) 地域交流活動の推進

- ① 別府大学の知的・人的・物的財産を活用して、各協定市町村（別府市、大分市、宇佐市、日田市、由布市、国東市、竹田市、杵築市、豊後高田市、日出町及び姫島村）との地域交流活動を推進しました。
- ② 別府大学と大分県が締結した「大分農業文化公園棚田プロジェクト」に基づき、新しい棚田の造成作業への参画、2 回目の米作りへの挑戦、米作りを体験した学生等による農業の魅力、食の安全等に関するシンポジウム等を行い、夢棚田チームの輪を広げました。

##### 4) 国際交流の充実

海外交流校との交流を通して国際理解教育の充実、国際共同研究の促進や外国人留学生の確保に努めました。別府大学では、夏・冬 2 回の別府大学国際セミナーを開催し、日本語、日本文化等の理解を深めてもらい、また、日本語教育研究センターにおいては外国人留学生に対する日本語教育の充実に努めました。短期大学部では、韓国の大邱科学大学との遠隔授業等での交流、インターンシップの支援等を推進しました。

##### 5) 学術研究・出版活動の充実

図書館に出版紹介の展示コーナーを開設し、学術研究・出版活動の奨励に努めました。また、各種の公開講座、セミナー等を企画するとともに、ホームページの研究者総覧の充実を図り、広く地域社会に教育・研究成果を公表し、還元する取組を推進しました。

##### 6) 学生の学業・スポーツ・文化芸術活動の充実

学業やスポーツ、芸術文化活動において優秀な成績を収めた学生等に対して理事長及び学長による表彰を実施し、学生の学業・スポーツ・芸術文化活動のより一層の活性化、奨励に努めました。

#### (3) 学生支援活動の推進

##### 1) キャリア（資格・就職）支援等の充実

- ① 平成 21 年度文部科学省から認められた「大学教育・学生支援推進事業—学生支援推進プログラム」の事業計画に基づき、全学的・体系的な就職支援・キャリア教育を推進しました。
- ② 就職委員会等及び各学科の教員と連携協力し、資格取得・就職対策講座及び学内外の企業合同説明会等を積極的に開催し、教職員についても研修会においてキャリア教育及び指導体制の在り方について見直しました。

##### 2) 生活相談等の支援の充実

学生寮その他民間アパートの斡旋による宿舍の確保を図り、また学生相談室に臨床心理カウンセラーを配し、健康相談や悩み相談などの充実に努めました。外国人留学生については、「別府大学・別府大学短期大学部外国人留学生後援会」による経済的な支援活動を充実させました。

##### 3) 危機管理対策の推進

別府警察署と連携して、大学近辺での不審者による被害の防止及び防犯意識の向上を目的とした別府大学防犯パトロール隊を学生有志の協力のもとに編成し、その活動を推進しました。

##### 4) 学習・生活環境の改善

学生が安心、安全に学園生活を過ごせるように健康・危機管理の徹底、禁煙教育・喫煙コーナーや掲示板による情報伝達の在り方の見直しを行いました。

##### (4) 学生募集対策の推進

学生募集戦略会議の基本方針を踏まえ、オープンキャンパス、高等学校訪問、高大連携の推進、別府大学同窓会との連携強化、全国的な入試動向等に関する情報の共有化のためのセミナーの開催など、学生募集に係る活動を一元的に管理・運営するとともに、相互に有機的に連携させることによる効率的・効果的な学生確保に努めました。

##### (5) 事務職員の資質向上

学内外の各種研修会への参加や報告会の実施による情報の共有化、放送大学の科目受講の奨励、若手の自主的な勉強会の支援、FD 研修会への参加、SD 研修会の実施などを通して職員の資質向上を図るとともに、職場環境の改善充実に結び付く取組の実施に努めました。

### 2. 附属学校

#### (1) 明豊中学校、明豊高等学校

##### ① 教育改革の推進（魅力ある学校づくり）

教科毎に研究授業を行い、それぞれの授業を観察することで互いの教授力スキルアップを図るとともに、生徒が興味・関心を持つ授業作りに取り組まれました。

##### ② 中学校と小学校の連携

小学校と中学校の 9 年間の連続した学びの中で、確かな学力を培う一貫教育を実施するため、小学校の校長（中学校副校長）が中学校の授業を観察・評価し、教員間で意見交換しました。

##### ③ 学力向上対策

普通科では、学年ごとの学習サイクルを確立させ、家庭学習記録表を活用した学習状況の自己確認等に取り組まれました。進路学習の時間での進路講演会や勉強会における卒業生との懇談会など、さまざまな体験談を聞く機会を設け、意欲の向上を図りました。この結果、別府大学へ 12 名、別府大学短期大学部へ 8 名、その他早稲田大学、上智大学・中央大学・明治大学などの私立大学へ 55 名、その他私立短期大学へ 6 名、京都大学・九州大学・千葉大学・広島大学・岡山大学・大分大学などの国立大学へ 20 名が合格しました。

看護科・看護専攻科では、合宿学習や卒業生による里帰り報告会等により意欲の向上や連帯感の共有に成果をあげました。

##### ④ 部活動・学校行事・国際交流の充実

文武両道のスローガンのもと、学業、部活動とも成果をあげ、硬式野球部、卓球部、女子ソフトテニス部等が全国大会で活躍しました。また、文化祭・体育大会・遠足・クラスマッチ・修学旅行・宿泊研修・海外の姉妹校との交流等を通じて社会性や豊かな人間性を育みました。

##### ⑤ 生徒指導の徹底

明豊生としての品格ある身だしなみ・態度を体得するため、毎月全校集会において服装検査や生活指導についての訓示を行いました。また、生徒会活動や部活動において目上の者に対する礼儀や心構え、同級生及び下級生に対する思いやりの心を育みました。

- ⑥ 生徒募集対策  
生徒募集対策室を設置し、入試広報担当者を配置し、各小中学校と緊密な連絡体制を作り、学校説明会、入試説明会やオープンキャンパスを成功させ、本校へ入学を希望する生徒や保護者のニーズに応えました。
- (2) 明星小学校  
① 学級担任と教科主任が協働し、授業実践に基づく特色あるカリキュラム作りに取り組みました。  
② 生きた英語力を身につけさせるため、1年生から6年間のカリキュラムに沿った英語の授業を実施し、指導にあたっては、外国人の専任講師と日本人英語講師を配置し、分かりやすく楽しい学習を展開しました。  
③ 国語はすべての教科の基本であり、学ぶ力の背骨であるという方針に基づき「朝の読書タイム」を設定し、「聴く力」を重視した学習に取り組みました。
- (3) 附属幼稚園  
① 平成22年度に発行した「教育課程・指導計画」をもとに、「幼児らしさを大切に自主性を育む」保育を推進し、保護者アンケートでは、経営や教育に関する18項目について9割の方から満足・ほぼ満足という評価をいただきました。  
② 科学する心を育てるソニー幼児教育プログラムに応募し、奨励賞を受賞しました。  
③ 保護者や短期大学部食物栄養科と食育を実践しました。  
④ セントレジャー城島主催「こいのぼりをつくろう」、別府八湯温泉祭り「千灯明」や別府冬粋彩「チャッカマウガツリー」等へ作品を出品したり、地元自治会や敬老会の方を運動会や餅つき等の行事に招待するなど、地域との交流を深めました。
- (4) 明星幼稚園  
① 「受け入れられて」「ひびき合う」「自ら歩む」園児の姿を目指し、3年間を見通した教育活動に取り組みました。  
② 登降園や給食時などには、「祈り」の時間を設け、感謝する心、ともに生きる精神を育みました。  
③ 年中、年長組では、週に1回、外国人の専任講師による英語活動を実施し、歌やゲームを取り入れた楽しい英語活動を展開しました。  
④ 学期ごとに明星小学校の児童との交流活動を行い、ダイナミックな遊びや教室での知的活動を楽しみました。
- (5) 附属看護専門学校  
① 本年度から全学年において新カリキュラムを実施したことで、新たな授業と臨地実習が増え、授業の割り振りや実習施設の確保に努めました。  
② 国家試験全員合格のための対策として自宅学習期間も全員登校学習とし、クラス担任が全期間において個別指導に尽力しました。  
③ 県内外の准看護師学校や施設との緊密な連携を図り、年間を通じた募集計画を立案し、募集活動の充実・強化に努めました。
- (6) 境川保育園、春木保育園  
新保育所保育指針に基づき改訂した保育課程を更に見直し、その充実を図りました。また、境川保育園、春木保育園ともに園舎の耐震補強工事を行い、安心で安全な保育環境を整備しました。

### 3. 地域貢献・文化推進事業

- (1) 大分香りの博物館事業の推進  
① 体験型香り文化振興事業として、大分県の支援による「香水づくりプチ体験」を県内6ヶ所で実施したほか、教育事務所と連携し、小学生を対象とした「親子調香体験」事業を県内6ヶ所で実施しました。  
② 通年事業として「香りの文化講座」を実施し、市民や学生等が参加し、香りの文化の振興に努めました。  
③ 別府大学の研修はもとより、韓国的高校生、大学生や教授等の視察研修も積極的に受け入れ、海外への香り文化の情報発信を行いました。
- (2) ゆふの丘プラザ事業の推進  
国内外の青少年を受け入れて自然体験学習を実施するほか、国家試験や高校・大学の受験に向けた合宿にも活用され、研修施設として、学校教育・社会教育の両分野に広く貢献しました。

### 4. 学生・生徒・児童・園児の在籍者数

学校法人全体の学生・生徒・児童・園児数は、次の表のとおり4,540人で前年度より127人減少しました。

平成23年5月1日現在(単位:人)

| 学 校      | 学 科 等    | H23年度 |
|----------|----------|-------|
| 大学院・学部   | 大学院      | 64    |
|          | 文学部      | 1,288 |
|          | 食物栄養科学部  | 401   |
|          | 国際経営学部   | 322   |
|          | 別科日本語課程  | 52    |
|          | 小 計      | 2,127 |
| 短期大学部    | 食物栄養科    | 106   |
|          | 初等教育科    | 308   |
|          | 地域総合科学科  | 159   |
|          | 保育科      | 109   |
|          | 専攻科      | 45    |
|          | 小 計      | 727   |
| 明豊高等学校   | 全日・通信制課程 | 563   |
| 明豊中学校    |          | 134   |
| 明星小学校    |          | 322   |
| 附属幼稚園    |          | 124   |
| 明星幼稚園    |          | 205   |
| 附属看護専門学校 | 全日・通信制課程 | 203   |
| 境川保育園    |          | 66    |
| 春木保育園    |          | 69    |
|          | 合 計      | 4,540 |

## III 財務の概要

平成23年度の収入については、帰属収入の柱である学生を確保し、学生納付金収入の増加を図ることを最重点課題として捉え、県内及び九州地区を中心とした募集活動の強化を図りました。また、学校法人の経営基盤をより一層強化し、充実した学校運営を実施するためには外部資金を確保することが極めて重要となっています。科学研究費補助金については、本年度においては採択件数14件、補助金額25百万円でした。申請件数の増加策などより一層の工夫が必要となっています。また、寄付金については、学校法人別府大学では、平成23年度の税制改正により寄付をした個人に対する優遇措置(寄付金控除)について、新たな適用が受けられることとなったことを受け、教育研究振興資金(目標額5億円、平成22年4月1日～平成30年3月31日)の募金活動を積極的に推進しました。

一方、支出については、中期財務計画及び事業計画等をもとに収支パランスの取れた財務内容を維持しつつ、予算の計画的・効率的な執行を図るとともに、キャンパス毎の削減目標額を定めた光熱水費の削減やアスフルアーナの利用拡大による購買コストの削減など積極的な経費節減への取組を推進しました。

#### (1) 貸借対照表

(単位:百万円)

| 科 目                | 本年度末   | 前年度末   | 本年度末 |
|--------------------|--------|--------|------|
| 資産の部               |        |        |      |
| 固定資産               | 23,862 | 24,000 | △138 |
| 有形固定資産             | 15,014 | 15,486 | △472 |
| その他の固定資産           | 8,848  | 8,514  | 334  |
| 流動資産               | 4,262  | 4,098  | 164  |
| 資産の部合計             | 28,124 | 28,098 | 26   |
| 負債の部               |        |        |      |
| 固定負債               | 1,093  | 1,113  | △20  |
| 流動負債               | 1,617  | 1,698  | △81  |
| 負債の部合計             | 2,710  | 2,811  | △101 |
| 基本金の部              |        |        |      |
| 基本金の部合計            | 25,164 | 25,103 | 61   |
| 消費収支差額の部           |        |        |      |
| 消費収支差額の部合計         | 250    | 184    | 66   |
| 負債、基本金及び消費収支差額の部合計 | 28,124 | 28,098 | 26   |

#### (2) 資金収支計算書

(単位:百万円)

| 科 目        | 予算     | 決算     | 増減  |
|------------|--------|--------|-----|
| 収入の部       |        |        |     |
| 学生生徒等納付金収入 | 3,027  | 3,056  | △29 |
| 手数料収入      | 51     | 52     | △1  |
| 寄附金収入      | 7      | 8      | △1  |
| 補助金収入      | 811    | 883    | △72 |
| 資産運用収入     | 83     | 93     | △10 |
| 資産売却収入     | 91     | 1      | 90  |
| 事業収入       | 342    | 349    | △7  |
| 雑収入        | 147    | 155    | △8  |
| 借入金等収入     | 0      | 0      | 0   |
| 前受金収入      | 1,328  | 1,359  | △31 |
| その他収入      | 287    | 265    | 22  |
| 資金収入調整勘定   | △1,520 | △1,550 | △30 |
| 当年度収入合計    | 4,654  | 4,671  | △17 |
| 前年度繰越支払資金  | 3,855  | 3,855  | 0   |
| 収入の部合計     | 8,509  | 8,526  | △17 |

| 支出の部      |       |       |      |
|-----------|-------|-------|------|
| 人件費支出     | 2,882 | 2,852 | 30   |
| 教育研究費支出   | 800   | 753   | 47   |
| 管理経費支出    | 318   | 283   | 35   |
| 借入金等利息支出  | 0     | 0     | 0    |
| 借入金等返済支出  | 0     | 0     | 0    |
| 施設関係支出    | 12    | 11    | 1    |
| 設備関係支出    | 66    | 98    | △32  |
| 資産運用支出    | 372   | 372   | 0    |
| その他の支出    | 296   | 304   | △8   |
| 資金支出調整勘定  | △206  | △227  | 21   |
| 当年度支出合計   | 4,540 | 4,446 | 94   |
| 次年度繰越支払資金 | 3,969 | 4,080 | △111 |
| 支出の部合計    | 8,509 | 8,526 | △17  |

### (3) 消費収支計算書

(単位：百万円)

| 科 目          | 予算    | 決 算   | 増減   |
|--------------|-------|-------|------|
| 消費収入の部       |       |       |      |
| 学生生徒等納付金     | 3,027 | 3,056 | △29  |
| 手数料          | 51    | 52    | △1   |
| 寄附金          | 24    | 28    | △4   |
| 補助金          | 811   | 883   | △72  |
| 資産運用収入       | 83    | 93    | △10  |
| 資産売却差額       | 1     | 1     | 0    |
| 事業収入         | 342   | 349   | △7   |
| 雑収入          | 147   | 155   | △8   |
| 帰属収入合計       | 4,486 | 4,617 | △131 |
| 基本金組入額合計     | △51   | △61   | 10   |
| 消費収入の部合計     | 4,435 | 4,556 | △121 |
| 消費支出の部       |       |       |      |
| 人件費          | 2,837 | 2,831 | 6    |
| 教育研究費        | 1,341 | 1,317 | 24   |
| 管理経費         | 373   | 322   | 51   |
| 借入金等利息       | 0     | 0     | 0    |
| 資産処分差額       | 37    | 4     | 33   |
| 徴収不能額        | 13    | 15    | △2   |
| 消費支出の部合計     | 4,601 | 4,489 | 112  |
| 当年度消費収入超過額   | △166  | 66    | —    |
| 前年度繰越消費収入超過額 | 183   | 184   | —    |
| 基本金取崩額       | 96    | 0     | —    |
| 翌年度繰越消費収入超過額 | 113   | 250   | —    |

### (4) 財産目録

(単位：百万円)

| 区 分             | 金 額                    |        |
|-----------------|------------------------|--------|
| 資産額             |                        |        |
| 1 基本財産          |                        |        |
| 土地              | 187,490 m <sup>2</sup> | 3,789  |
| 建物              | 87,100 m <sup>2</sup>  | 8,134  |
| 図書              | 359,846 冊              | 1,327  |
| 教具・校具・備品        | 11,889 点               | 896    |
| その他             |                        | 1,112  |
| 小計              |                        | 15,258 |
| 2 運用財産          |                        |        |
| 現金預金            |                        | 4,081  |
| 積立金             |                        | 8,357  |
| 土地              | 3,030 m <sup>2</sup>   | 206    |
| 建物              | 673 m <sup>2</sup>     | 36     |
| 収益事業元入金         |                        | 3      |
| その他             |                        | 183    |
| 小計              |                        | 12,866 |
| 3 収益事業用財産       |                        | 8      |
| 資産総額            |                        | 28,132 |
| 負債額             |                        |        |
| 1 固定負債          |                        |        |
| 長期借入金           |                        | 0      |
| 退職給与引当金         |                        | 1,093  |
| 2 流動負債          |                        |        |
| 短期借入金           |                        | 0      |
| 前受金             |                        | 1,359  |
| その他             |                        | 258    |
| 3 収益事業用負債       |                        | 4      |
| 負債総額            |                        | 2,714  |
| 正味財産（資産総額－負債総額） |                        | 25,418 |

### (5) 収益事業の状況

国際交流会館及びゆふの丘プラザは、私立学校法第26条に基づく収益事業（請負業）です。これらの事業は、その収益を学校法人の教育研究活動に役立てることが目的ですが、平成23年度においては、ゆふの丘プラザにおいて落雷による温泉ポンプの故障に伴う特別損失が発生したことなどもあり、若干の当期純損失が発生しました。

#### ① 貸借対照表

(単位：千円)

| 資産の部       |         |
|------------|---------|
| I 流動資産     | 7,540   |
| II 固定資産    | 603     |
| 1 有形固定資産   | ( 603)  |
| 2 無形固定資産   | ( 0)    |
| 3 投資その他の資産 | ( 0)    |
| 資産の部合計     | 8,143   |
| 負債の部       |         |
| I 流動負債     | 4,294   |
| II 固定負債    | 0       |
| 負債の部合計     | 4,294   |
| 純資産の部      |         |
| I 元入金      | 3,414   |
| II 利益剰余金   | 435     |
| 当期純利益      | ( △592) |
| 純資産の部合計    | 3,849   |
| 負債・純資産の部合計 | 8,143   |

#### ② 損益計算書

(単位：千円)

| 科目             | 決算     |
|----------------|--------|
| I 売上高          | 47,304 |
| II 売上原価        | 0      |
| 売上総利益          | 47,304 |
| III 販売費及び一般管理費 | 47,720 |
| 営業利益           | △416   |
| IV 営業外利益       | 3      |
| V 営業外費用        | 0      |
| 経常利益           | △413   |
| VI 特別利益        | 8,676  |
| 特別損失           | 8,855  |
| 税引前当期純利益       | △592   |
| 法人税・住民税及び事業税   | 0      |
| 法人税等調整額        | 0      |
| 当期純利益          | △592   |

### 監 事 監 査 報 告 書

学校法人 別府大学

理事長 日高 紘一郎 殿

平成24年5月8日

学校法人 別府大学

監事 此本 英一郎 ㊞

監事 三浦 義人 ㊞

私たち監事は、私立学校法第37条第3項および学校法人別府大学寄附行為第15条に基づき、平成23年度（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）における学校法人の業務及び財産の状況について監査を行い、次のとおり報告いたします。

#### 1. 監査の方法

- 1) 理事会および評議員会に出席して業務の報告を聴取し、また重要な決裁書類等を閲覧し、業務の妥当性を検討しました。
- (2) 重要な財産については、会計帳簿と証憑書類との実査照合等を行いました。また、公認会計士から会計監査の報告を受け、あるいは適時その監査に立ち会い、計算書類等の妥当性を検討しました。

#### 2. 監査意見

- (1) 学校法人別府大学の業務は適正であり、その計算書類等は学校法人の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。
- (2) 学校法人の業務または財産に関し不正の行為または法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

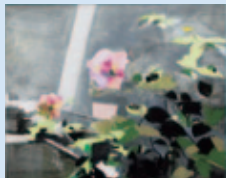
以上

# 新聞で紹介された別府大学・短大の活動

(平成 24 年度前半の主なもの)

| 新聞社                                   | 内 容                                                                                                                   |
|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大分合同 4/6、今日 4/5                       | 別府大と別大短期大学部が合同入学式を挙                                                                                                   |
| 朝日 4/10                               | 鉄砲玉の鉛 タイ産大量 戦国時代に輸入 鎖国の一因か 【平尾良光教授】                                                                                   |
| 大分合同 4/13                             | 安全・安心守る人材を（「ひと」欄）【江崎一子教授】                                                                                             |
| 大分合同 4/14                             | 就職活動がんばろう 別府大が 4 年生対象オリエンテーション 【キャリア支援センター】                                                                           |
| 毎日 4/20、大分合同 4/20                     | 書に臨む真摯な姿勢 大分県をリードする代表書家 5 人展 【荒金大琳教授】                                                                                 |
| 大分合同 4/20                             | 収蔵品の劣化防止 安価な有機酸除去具開発 【渡辺智恵美准教授】                                                                                       |
| 大分合同                                  | 4/24 「はしのにぎり方」、6/5 「子どもと一緒にクッキング」、7/17 「園児と保護者と一緒に田植え体験」、8/21 「食物アレルギーへの対応」(連載「食育こんには 現場の栄養士からアドバース」) 【短大食物栄養科卒業生研究会】 |
| 朝日                                    | 4/25 「大学に求められるもの」、6/5 「若葉の頃に思う」、9/5 「闇の深さ教えてくれる堂」(「つれすれ大分」への連載) 【浅野則子教授】                                              |
| 西日本 4/27、大分合同 4/26、今日 4/24            | 食物栄養科学部が 10 周年 小泉武夫氏の記念講演も 【食物栄養科学部】                                                                                  |
| 月刊セーノ 4 月号                            | スーパー調味料「塩花」のここがスゴイ! 岡本教授にインタビュー 【岡本啓浩教授】                                                                              |
| 朝日 5/2                                | 食育 ダンスで紙芝居で 別府大短大食物栄養科の女子学生ら 防災しじこ紹介も 【短大食物栄養科】                                                                       |
| 大分合同                                  | 5/8「タケノコすし」、6/21「お方すし」、7/10「ところてん」、8/7「みどりおこわ」、9/11「くり餅」(連載「親子でつくる郷土料理教室」) 【西澤千恵子教授】                                  |
| 大分合同 5/8                              | 留学生確保、重要に 早い段階から就職支援 (連載「県内学長に聞く」) 【豊田寛三学長】                                                                           |
| 大分合同 5/12                             | 都市住民に農村文化を紹介する「すずめの学校」初代校長 (「ひと」欄) 【安藤博昭短大事務局長】                                                                       |
| 大分合同 5/12                             | ハーフタイムトーク 競技は人生の「相棒」【別府大なぎなた部 志村美寿季主将】                                                                                |
| 大分合同 5/16                             | 別府大短大生が空港業務を学ぶ 【短大地域総合科学部】                                                                                            |
| 大分合同 5/17                             | ふんわり豆味噌 幼稚園児が仕込み 別府大が指導 【浅田憲彦准教授】                                                                                     |
| 大分合同 5/17                             | 父の日料理コンクール 別大短大が主催 愛情にあふれた力作 【短大食物栄養科】                                                                                |
| 大分合同 5/18                             | キャリア教育に力 常勤カウンセラー配置 学生の就活後押し 【佐藤敬子准教授・キャリア支援センター】                                                                     |
| 今日 5/18                               | 別府大国際経営学部が企業説明会 【国際経営学部】                                                                                              |
| 大分合同 5/20                             | 新入生に希望を 別府大「さつき祭」はじまる                                                                                                 |
| 西日本 5/21                              | 「コラーゲンの豆知識」【岡本啓浩教授】                                                                                                   |
| 大分合同 5/22、6/11                        | 大分香りの博物館が 5 周年記念 来年 1 月まで講座や教室 癒しの時間を 【香りの博物館】                                                                        |
| 大分合同 5/26                             | キャリア教育の充実に力を注ぐ 幸せな人生をリード (「ひと」欄) 【佐藤敬子准教授】                                                                            |
| 大分合同 5/30                             | 「食物アレルギーの栄養指導」を出版 高松別府大准教授も編集・執筆 【高松伸枝准教授】                                                                            |
| 大分合同 6/3、今日新聞 5/23                    | 明豊中・高校 自転車安全利用モデルに指定 【明豊中学・高校】                                                                                        |
| 朝日 6/4、毎日 6/4、読売 6/4 西日本 6/4、大分合同 6/4 | 竹田市の国重文「サンチャゴの鐘」国内製造の可能性 金属の成分分析で判明 【平尾良光教授】                                                                          |
| 大分合同 6/3                              | 過去最高92.5% 別府大の管理栄養士合格率 【食物栄養科学部】                                                                                      |
| 西日本 6/5                               | 「骨だけではなく カルシウムの働き」【江崎一子教授】                                                                                            |
| 朝日 6/12、西日本 6/12 大分合同 6/14            | 中世の面影残す里 田染の荘で御田植え祭 【史学・文化財学科】                                                                                        |
| 読売・朝日・毎日・西日本・大分合同 6/16                | 「別府の湯けむり」と「日田のガランドや遺跡」国の重要文化的景観に 【段上達雄教授、史学・文化財学科】                                                                    |
| 朝日 6/18                               | 別府大「夢米棚田チーム」の学生 古代米の田植え【夢米棚田チーム】                                                                                      |
| 大分合同 6/23                             | 歌や踊りで食育推進 育ドル娘におまかせ CDを製作 イベントでも注目 【短大食物栄養科】                                                                          |
| 大分合同                                  | 6/25 「お国自慢をもっと」、9/3 「地域の中に再生の鍵」(「私の読面批評」欄) 【飯沼賢司教授】                                                                   |
| 大分合同 6/27                             | 面接必勝!身だしなみ 別府大でメーキャップ講座 【キャリア支援センター】                                                                                  |
| 今日 6/28                               | 段上教授「別府の竹細工」原点は工業徒弟制度 語り部の会第 1 回講座 【段上達雄教授】                                                                           |
| 大分合同 6/29                             | 食育の推進目指して活動する「育ドル娘」リーダー (「ひと」欄) 【金沢茜さん・短大食物栄養科】                                                                       |
| 大分合同 7/3、今日 7/2                       | 名シェフが中華のコツ伝授 上海料理の孫さん招き 【短大食物栄養科】                                                                                     |
| 西日本 7/8                               | 「阿蘇下野村史料集」を出版 中世阿蘇宮の重要行事伝える 【飯沼賢司教授】                                                                                  |
| 大分合同 7/12                             | 「わんぱく子ども祭り」別大短大生が親子で遊べる手づくりおもちゃを製作 【短大保育科】                                                                            |
| 大分合同 7/17                             | 別府大で新聞使った講義 “人間力” 高めて 「まず見出し読もう」 【佐藤敬子准教授】                                                                            |
| 大分合同 7/17                             | 明豊高校前で交通安全呼びかける 「大分夏の事故ゼロ運動」 【明豊中学・高校】                                                                                |
| 大分合同 7/18                             | 狙えストリートダンスの W 杯 “まんま” の自分表現 【相良望人さん、国際言語・文化学科】                                                                        |
| 大分合同 7/18                             | 別府市男女共同参画センター運営検討委員会会長「平等な社会づくりを」(「人」欄) 【渡辺一弘短大保育科准教授】                                                                |
| 大分合同 7/19、7/22                        | ロンドン五輪 アーチェリー代表石津優 別府大で腕磨く 【石津優さん 別府大卒業生】                                                                             |
| 今日 7/19                               | 別府大で国際セミナー開講 ロシアや韓国、中国の高校生・大学生が多数参加                                                                                   |
| 大分合同 7/20                             | 「重要文化的景観への道」刊行 飯沼別大教授等執筆 田染荘 30 年の歩み 【飯沼賢司教授】                                                                         |
| 大分合同 7/25、今日 7/19                     | 車の死角はどこだ 別府大留学生が二輪車体験型講習会                                                                                             |
| 大分合同 7/28                             | 大分県豪雨 被災地ボランティア 大学生「継続こそ力」、「教育効果」大学が後押し                                                                               |
| 今日 8/4                                | 別府市中学軟式野球新人戦大会 明豊中学が優勝 【明豊中学】                                                                                         |
| 大分合同 8/6                              | 全日本学生なぎなた 別府大の城間 3 位 【城間さやかさん・短大地域総合科学部】                                                                              |
| 西日本新聞 8/6                             | 「原発」討論型世論調査が終了 「政府のいいところ取り懸念」【篠藤明徳教授】                                                                                 |
| 今日 8/6                                | 別府大 中国の職業技術学院と協定 マンガ・アニメで交流                                                                                           |
| 今日 8/17                               | 幅広い仕事に驚く 別府商工会議所で別大生 2 人がインターンシップ 【キャリア支援センター】                                                                        |
| 朝日 9/13、毎日 8/26、大分合同 8/26             | 日田・永山城址で説明会 「ごろた石で垣根」天領日田の高度技法 【上野淳也助教】                                                                               |
| 今日 8/29                               | 別府大が高校家庭科教員の学術交流会 「塩花をまなぶ」【食物栄養科学部】                                                                                   |
| 大分合同 8/29                             | なでしこ小学生 別府大で調理実習 「食事で丈夫な身体を」【平川史子准教授】                                                                                 |
| 今日 8/31                               | 国際博物館の日作文コンクール 明豊中学生が 1 位と 2 位 【明豊中学】                                                                                 |
| 今日 9/1                                | 県私立高校体育大会(バスケットボール) 明豊高校がアベック優勝 【明豊高校】                                                                                |
| 大分合同 9/1、西日本 9/18                     | 災害時の備え学ぼう 別府大短大で公開講座 【短大食物栄養科】                                                                                        |
| 今日 9/4、9/8                            | 別府大で小泉武夫氏公開講座 【食物栄養科学部】                                                                                               |
| 大分合同 9/5                              | 食物アレルギーこうすれば安心 栄養士の料理教室で講座 【高松伸枝准教授】                                                                                  |

## 表紙の挿絵



「白昼夢」 F100 キャンバス・油彩  
安部 沙保里 (絵画表現コース研究生)

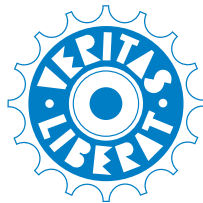
### 作者コメント

自ら撮影した花の写真を用いて、物の持つ色には捉われず、作品と対話しながら、色面と色面のせめぎ合いや筆致を効果的に使いました。

## 編集後記

今号では、「特集」・「教育CloseUp」の中で、本学の免許・資格に関する教育として、伝統的な栄養士(食物栄養科)、保育士、小学校・幼稚園教諭(初等教育科)及び司書・司書補(司書課程)、並びに新しいアーキビストについての取組みを紹介しました。

本学では、この外に中学・高校教員、学芸員、管理栄養士、社会福祉士、精神保健福祉士など種々の免許・資格やその受験資格を取得することができ、多くの卒業生がこのような免許・資格を活かして斯界の第一線で活躍しています。(友永)



真理はわれらを自由にする

---

**Be-News** 2012.Autumn (別府大学通信 No.105)

編集 別府大学メディア教育・研究センター 広報部  
発行日 平成 24 年 9 月 29 日  
印刷 佐伯印刷株式会社

---